

武
描

自
繪

大正拾五年作

日本アルプス十二題之内
鎌ヶ岳

INTO THE WILD

版画家 吉田博と吉田遠志 HIROSHI YOSHIDA & TOSHI YOSHIDA

2022.05.03 tue - 05.29 sun
長野 信毎メディアガーデン SHINMAI MEDIA GARDEN

<https://into-the-wild.goldwin.co.jp>

Yoshida

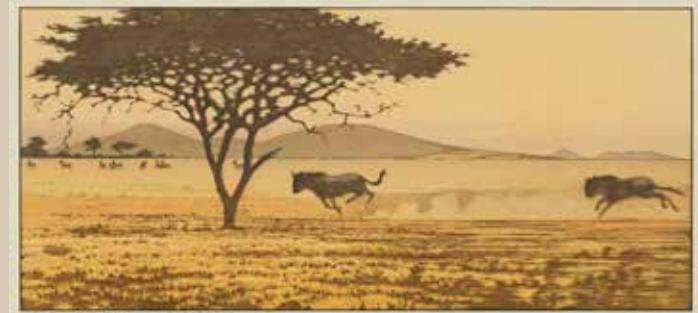
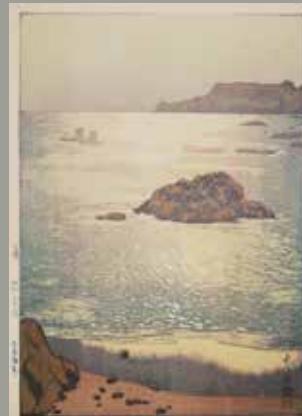
hiroshiyoshida

INTO THE WILD

版画家 吉田博と吉田遠志 Hiroshi Yoshida & Toshi Yoshida

2022年5月3日 [火・祝] - 5月29日 [日]

行動する画家、聳える風景。
観察する画家、跳ねる生命。



吉田博 (1876~1950)

1876年(明治9年)9月、福岡県生まれ。画才を見込まれて1891年(15歳)に洋画家吉田嘉三郎の養子となる。1899年(23歳)に中川八郎とともに渡米して、デトロイト美術館やボストン美術館で展覧会を行い、多くの作品を売上げ大成功を収める。1900年(23歳)、パリ万博に出品。明治美術会を経て、1902年(25歳)の太平洋画会創立に参加。1903年(27歳)、義妹のふじと一緒に渡米。翌年の「兄妹二人展」は評判を呼び、全米各地で開催される。1907年(30歳)に帰国し、ふじをと結婚。1920年(44歳)より木版画を手がけ、1936年(59歳)で日本山岳画協会を結成、1947年から1950年の逝去まで太平洋画会初代会長を務めた。

1898年(21歳)、日本アルプス登山がまだ一般的でなかった時代から登山を続け、日本に留まらずロッキー山脈、ヨーロッパ・アルプス、ヒマラヤなど世界の山岳も訪れた。高山美、展望美、緑野美、断崖美、湖水美、高原美、山嶺美を讃える多数の山岳画、260点余りの版画を作製した。明治から昭和にかけて、風景画の第一人者として活躍し、独自の版画世界は世界でも愛されている。2021年には没後70年の展覧会が、東京都美術館をはじめ巡回して行われた。

吉田遠志 (1911~1995)

1911年7月、洋画家・版画家であった吉田博の長男として東京に生まれる。同舟舎デッサン研究所、太平洋美術学校で美術を学びながら、13歳ころから父・博に木版画を学ぶ。1930年(19歳)、父とともにインド、ビルマ、マレーシアなど東南アジアを写生旅行。太平洋画会展や日本版画協会展に出品し、各地の国際版画展でも活躍した。1952年(41歳)にニューヨークのジャパン・ソサエティーの協力を得て、アメリカ各地で講演、伝統的木版画の技法紹介、展覧会などを行う。1973年(62歳)、東アフリカを訪れて以降、インド、オーストラリア、南極などへも旅しながら、各地の動物をモチーフとする版画を制作した。

1980年(69歳)、長野県北安曇郡美麻村の小中学校の旧校舎を利用して「美麻文化センター」を創設し、木版画、ガラス細工、陶器などの技術指導の場とする。1982年(71歳)から始めた「動物絵本シリーズ」(福武書店)で絵本にっぽん賞などを受賞。『はじめてのかり』でボローニャ国際児童図書展エルバ特別賞、「まいご」で絵本にっぽん賞、サンケイ児童出版文化賞、国際オーナーリスト賞を受賞したほか、「アフリカの動物絵本シリーズ」(リブリオ出版)は、フランスで翻訳出版賞・異文化理解貢献賞を受賞した。

会期：2022年5月3日 [火・祝] - 2022年5月29日 [日]

会場：信毎メディアガーデン

〒390-8585 長野県松本市中央2丁目20-2 1階ホール

開館時間：11:00-19:00

主催：信濃毎日新聞株式会社

共催：株式会社ゴールドウイン

協賛：株式会社 博展

THE NORTH FACE × 吉田博コラボレーションTシャツ会場特別販売予定



信毎
MEDIA
GARDEN

信濃毎日新聞 GOLDWIN

<https://into-the-wild.goldwin.co.jp>